

平成19年度 第2回 除雪機械安全性・作業性向上に関する検討会 開催報告

○ 検討会の開催概要

日時：平成20年2月26日（火）9：30～12：00

場所：KKRホテル仙台 2F青葉

議事

1. 第1回検討会の議事録確認について
2. 歩道除雪の安全性・操作性向上に関する検討
3. 除雪作業の情報化施工に関する検討

○ 議事結果

1. 第1回検討会の議事録確認について

内容について了承されました。

2. 歩道除雪の安全性・操作性向上に関する検討

前回の第1回検討会で委員の方々から出されました、除雪作業区間での除雪機の移動に関する検討結果及び試作機による性能試験結果の報告をいたしました。

委員からは、除雪機のトラックへの積載方法に関して、コスト、人員面を考慮すると歩み板による方法又はセルフトレーラによる方法が良いのではないかとの意見が出されました。

また、現時点で終了していない現場適応性試験への要望では、除雪機自体の運転員側が高くなっていることから、機械前方に対する視認性の調査を行ってはどうかとの意見が出されました。

このような意見を踏まえ、3月上旬には現場適応性試験を終了し、結果をとりまとめ、来年度からの導入につなげていくことで了承されました。

3. 除雪作業の情報化施工に関する検討

第1回検討会以降に実施いたしました除雪作業員への追加アンケート結果及び運転者支援・管理者支援に関する開発システム各2案の提案をいたしました。

委員からは、運転者支援については、進行方向の障害物だけでなく、横方向の精度も上げてできれば、経験年数に関係なく活用できるものになるのではないかとの意見が出されました。

また、管理者支援については、現在既に導入されている管理システムや一般利用者向けのリアルタイム情報提供システムなどの有効活用を検討してはどうかとの意見が出されました。

今回の意見を踏まえ、コスト面並びに現場の意見を聴きながら、来年度の試作装置製作を行っていくことで了承されました。